

渋川警察署協議会議事録

(令和6年度第3回定例会議)

開催日時	令和6年12月17日(火) 会議 午後0時30分から午後1時20分まで 視察 午後1時30分から午後3時40分まで		
開催場所	会議 マイクロバス車内 (渋川警察署から自衛隊相馬原演習場までの間) 視察 自衛隊相馬原演習場		
出席者	委員 (定数12人)	松崎会長 高橋(保)委員 飯塚委員 高橋(尚)委員 飯島委員 齋藤委員 本多委員 中澤委員	計 8人
	警察	佐藤署長 谷中警務課長 柳岡警備課長	計 3人
	その他		
議 事 の 概 要			
<p>1 意見、要望等 (○～委員、●～署長等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民から、道路でスケートボードをしている子供がいるという意見を頂いた。ポスターや注意案内を貼る、あるいは掲げることはできるか。〔質問〕 ● 注意喚起のためのポスターや立て看板は自治体の屋外広告物条例や道路占有許可の対象となるが、スケートボードは、歩道上などで走行すると歩行者や自転車などに衝突する危険性の高い乗り物と思われるため、現状でどのような対応が出来るかを渋川市役所と協議中である。〔回答〕 ○ 会議を年4回から年6回に増やせないか。〔要望〕 ● 群馬県警察署協議会運営規則では、「会議は、会長が招集」する旨規定されており、開催回数は決められていない。現状は、協議会委員の本来業務に支障を来さないよう、県内全警察署協議会で年4回の開催としていることから、年4回の開催を継続していくこととしたい。御意見・御質問等は、会議の有無に関わらず、いつでも警察に伝えていただくようお願いしたい。〔回答〕 ○ 上武道路に速度標識の設置及び速度取締りを実施してもらいたい。〔質問〕 ● 上武道路は、40キロや50キロの標識による指定速度による規制ではなく、法定速度60キロ道路であることから、標識の設置はしていない。 速度取締りの必要性は、委員指摘の通り交通課でも認識しているところであるため、取締係と連携し、重大事故の未然防止に向けた速度取締りを行っていきたい。〔回答〕 ○ 横断歩道の設置が困難であれば横断旗の設置はできないか。〔要望〕 ● 設置要望の場所がわかれば、最寄りの小学校等の関係機関に連絡を取り、設置の必要性について判断してもらう方向で検討させていただく。〔回答〕 ○ 道路に青い線で四角に囲まれている場所はどのように注意して通行したら良いのか。〔質問〕 ● 青色の路面標示は、警察規制によるものではなく、道路管理者が交差点内の円滑な交通流を確保するために設置したものだと思われ、青色枠の中での停止は避けた方が良い。さらに、青色ペイントの場所の直前に信号機に対する停止線があるため、前方の信号機が赤色のまま、停止線を越えて交差道路に進行すると信号無視の違反になるのでご注意ください。〔回答〕 			

2 答申

第2回定例会議において諮問した「優秀な人材の確保（警察官募集）」について以下のとおり答申があった。

- 学校の部活に働きかけて顧問や家庭への配り物を通して進路選択の際の選択肢の一つとしてPRしていく。
- 職場体験等実施の際、採用2、3年の職員から、採用後の感想などを聞く機会を設ける。
- 警察署と市民が触れ合う機会、イベント等を増やす。
- 小さい頃から警察という職種に興味を持ってもらうため、小中学校に白バイやパトカーで交通指導に行く。
- 中途採用者を積極的に採用する。
- 高校生の職場体験を積極的に開催する。
- 現役（若手）警察官を出身校に派遣して、体験を語るなどしてアピールする。
- 公式ホームページ等で紹介、アピールし、身近な存在として関わられるようにする。
- 試験区分を分けずに実施する。

3 令和6年度関東管区広域緊急援助隊合同訓練視察状況

午後1時30分から午後3時40分までの間、自衛隊相馬原演習場において、各実施部隊による

車両排除訓練、多数死体取扱訓練、部隊投入訓練、オフロードバイク不整地走行訓練、ドローン訓練、土砂掘削捜索訓練、重量物排除訓練、警備犬訓練（ドックサーチ）等

を視察した。

重量物排除訓練では、女性委員2名が丸太の排除訓練に参加した。

4 備考

- (1) 令和6年度第4回定例会議は、令和7年2月に開催することとした。
- (2) 配付資料
 - ・ 渋川警察署令和6年度第3回会議資料
 - ・ 「群馬のまもり令和6年冬号」